入学前自主トレーニング課題

2027年度版

東北芸術工科大学
プロダクトデザイン学科

プロダクトデザイン学科入学前自主トレーニング課題

自主トレーニング課題の目的

合格者の皆さんおめでとうございます。これから入学までの数か月間、入学後の学習にスムーズに移行できるように入学前自主トレーニング課題を出題します。
課題にじっくり取り組みながら、入学までの助走をしっかりつけていきましょう。

課題内容

【課題①】観察スケッチ

身近なプロダクトを観察しスケッチすることでプロダクトに潜む「デザイン」を探ります。この「観察スケッチ」を通してデザイナーとしての観察眼を見に付け、世の中にあふれる先人たちのアイデアを分析して自分の糧にする力を養います。入学前にプロダクトの見方を「消費者の目線」から「デザイナーの目線」に変えましょう。

- 教科書を購読する。
- 提出日までに10種類以上のプロダクトをスケッチする。
- 用紙はＡ４用紙（コピー用紙及や方眼用紙）。
- Ａ４クリアポケットファイルに保管して提出。（１ページに一枚ずつストック）
- 提出：1年生学科ガイダンス日に持参（プロダクトデザイン学科準備室に提出）

【課題②】課題図書レポート

プロダクトデザイン学科の教授陣がお勧めする書籍から、デザイナーに必要な考え方や知識、テクニックをはじめデザインが必要とされる世界の捉え方を学びます。

- 課題図書から１冊を選び購読のうえレポートをまとめる。
- 「書籍の概要」400字程度、「レポート」600字以上記入すること。
- 「である調」で書くこと。
- レポート内容の例：書籍を読んで得た知識や考え方を今後どのように活かすか、自身の意識の変化について、など。
- 「Microsoft Forms」にて２０２７／２／１（月）までに回答。
  ↓フォームへのリンク
  https://forms.cloud.microsoft/r/KmtK24Kdnp

【課題①】観察スケッチについて

課題教科書



気になるモノを描いて楽しむ　観察スケッチ

檜垣 万里子　著

発行：株式会社ホビージャパン

「観察スケッチは自分の身のまわりのモノを観察して描くスケッチです。２０１８年に空間デザイナーのヤマシタサトシさんがWebにそのノウハウを投稿したことをきっかけにハッシュタグ「＃観察スケッチ」をつけた画像の投稿が広まりました。」

（檜垣 真理子 観察スケッチ P8より引用）

観察スケッチのやり方

1.モチーフを選ぶ

- 身近なプロダクト

例：文房具、時計、電子機器、乗り物、工具、食品パッケージ、スニーカー、など。

（※今回の課題では生き物や食べ物などの不定形なものは不可）

2.画材の準備

- Ａ４サイズの紙（無地のコピー用紙や方眼紙等）
- ペン類、鉛筆、色鉛筆、マーカー、絵具、など。

3.表現の仕方

- 線画、陰影表現、着彩等、観察したモノをしっかりと表現できれば何を使っても自由です。

4.スケッチ手順

Step.1

3面図を描く

決まった方向（正面・上面・側面）から観察し、プロポーションや造形を理解します。

Step. 2

斜視図を描く

３面図で理解した形状を、実際にmているように立体的に描いてみよう
また、特徴的なところをクローズアップして部分的に描いてみましょう。

Step. 3

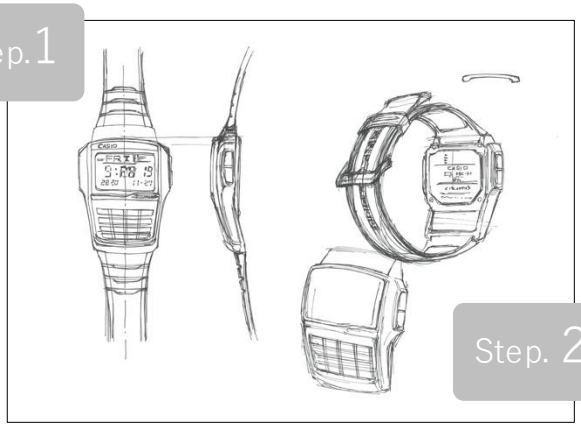
観察メモを書く

観察していて気が付いたことや仕組みや感想を書き込んでみよう。
例：部分の名称、素材、質感、形の特徴、工夫の内容

【課題①】観察スケッチについて

スケッチプロセス

Step.1



下書き

鉛筆やペンなどで大まかに形を捉えます。
紙面でのレイアウトもイメージしながら描きます。

Step. 2



着彩・陰影表現

下書きをトレースして線を整理する。（下書きに直接墨入れしてもよい。）
マーカーや色鉛筆などで陰影や色を付ける。
※観察したモノとまったく同じ色にする必要はありません。

Step. 3

観察メモを書く



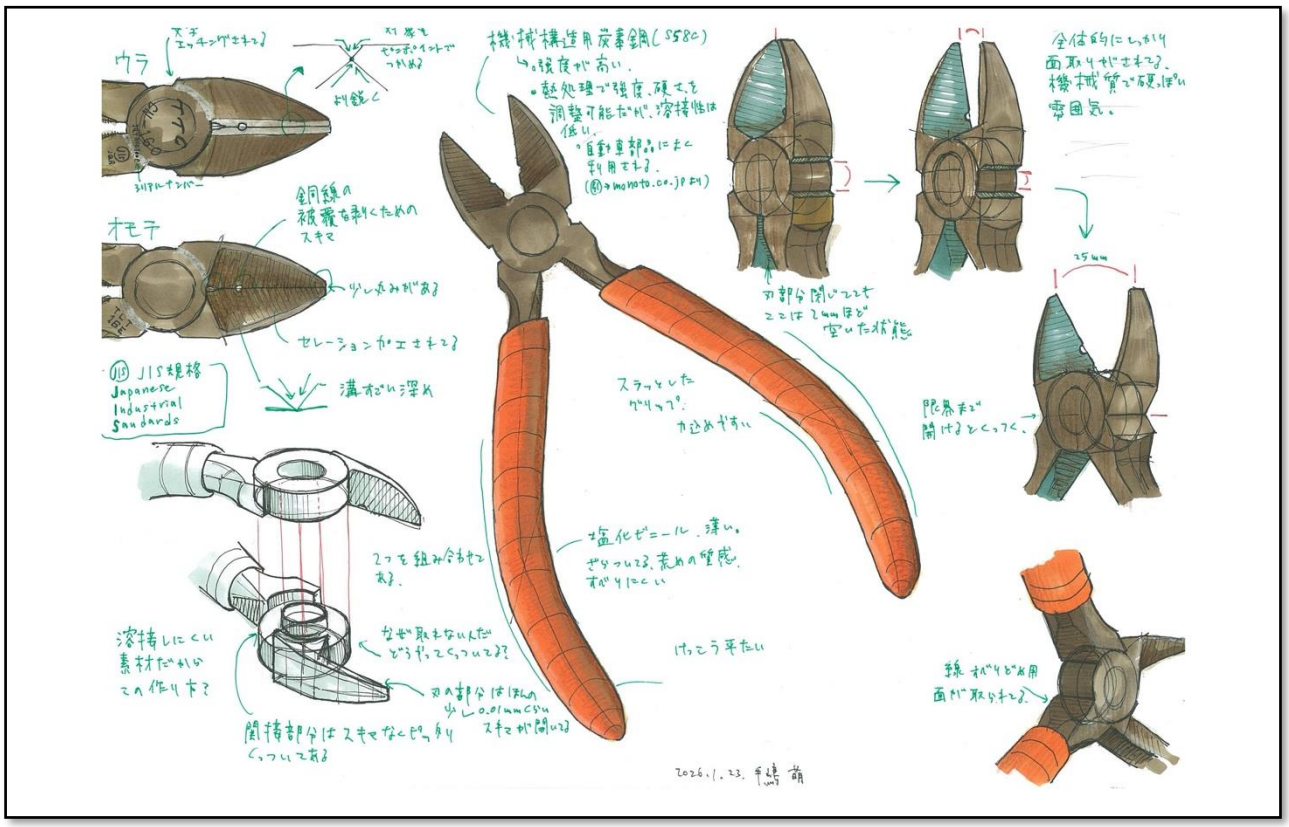
【課題①】観察スケッチについて

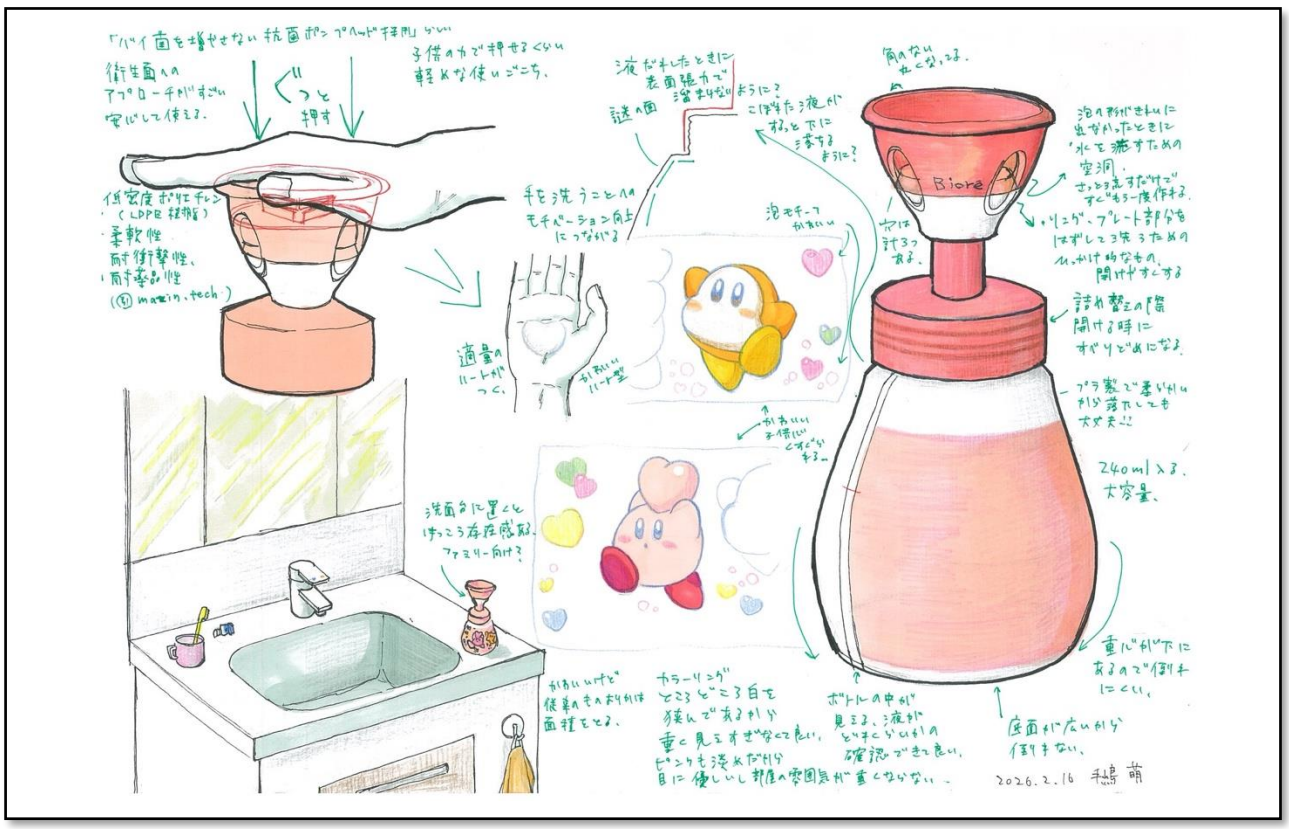
スケッチ実例



【課題①】観察スケッチについて

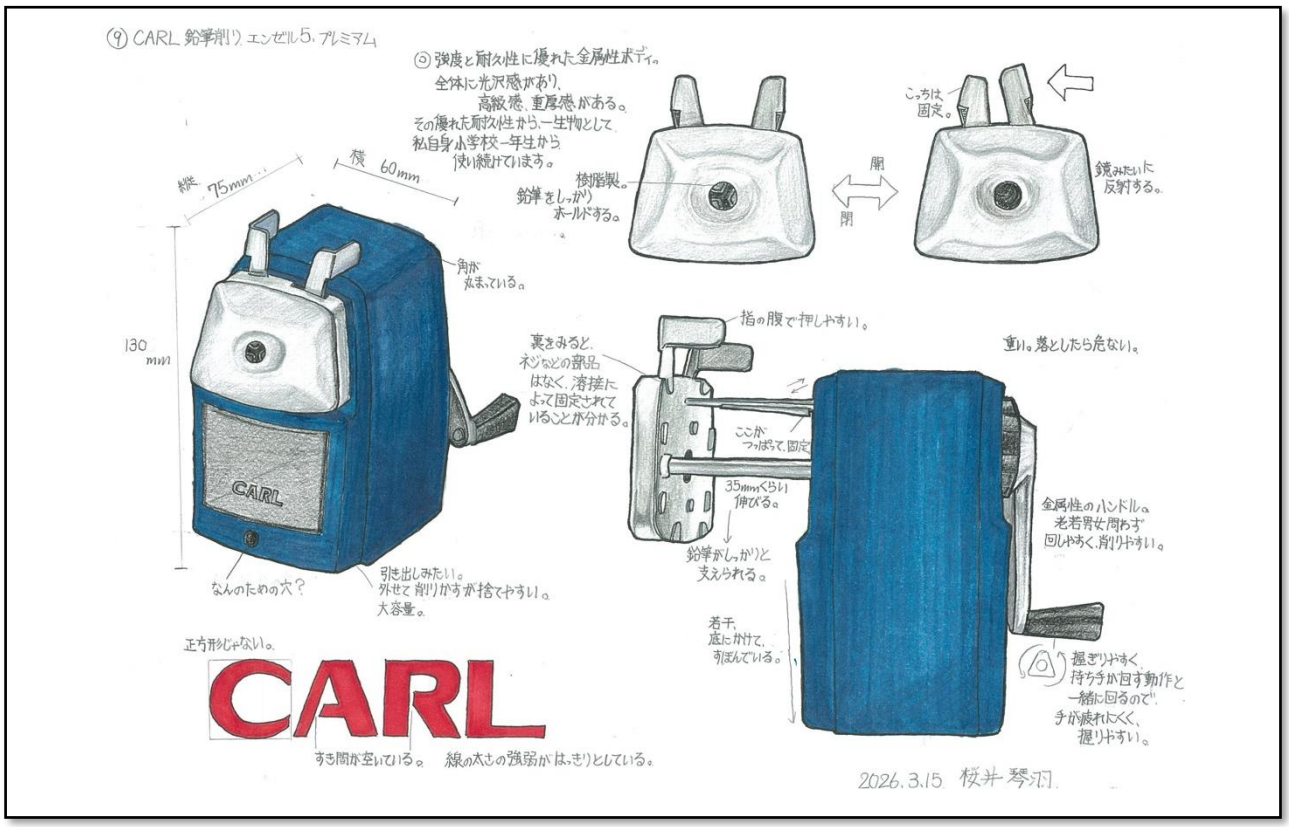
スケッチ実例（２０２６年度入学生スクーリング課題作品）

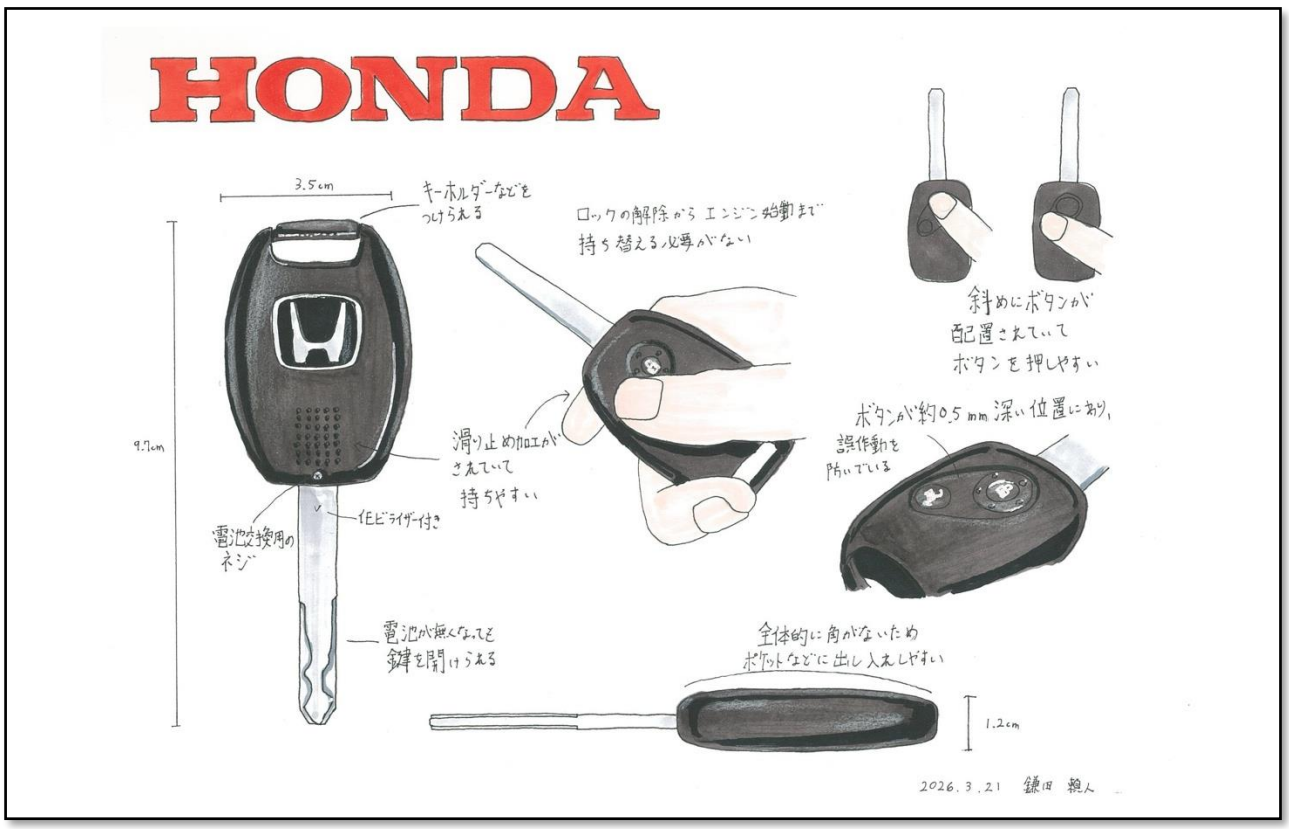




【課題①】観察スケッチについて

スケッチ実例（２０２６年度入学生スクーリング課題作品）





【課題①】観察スケッチについて

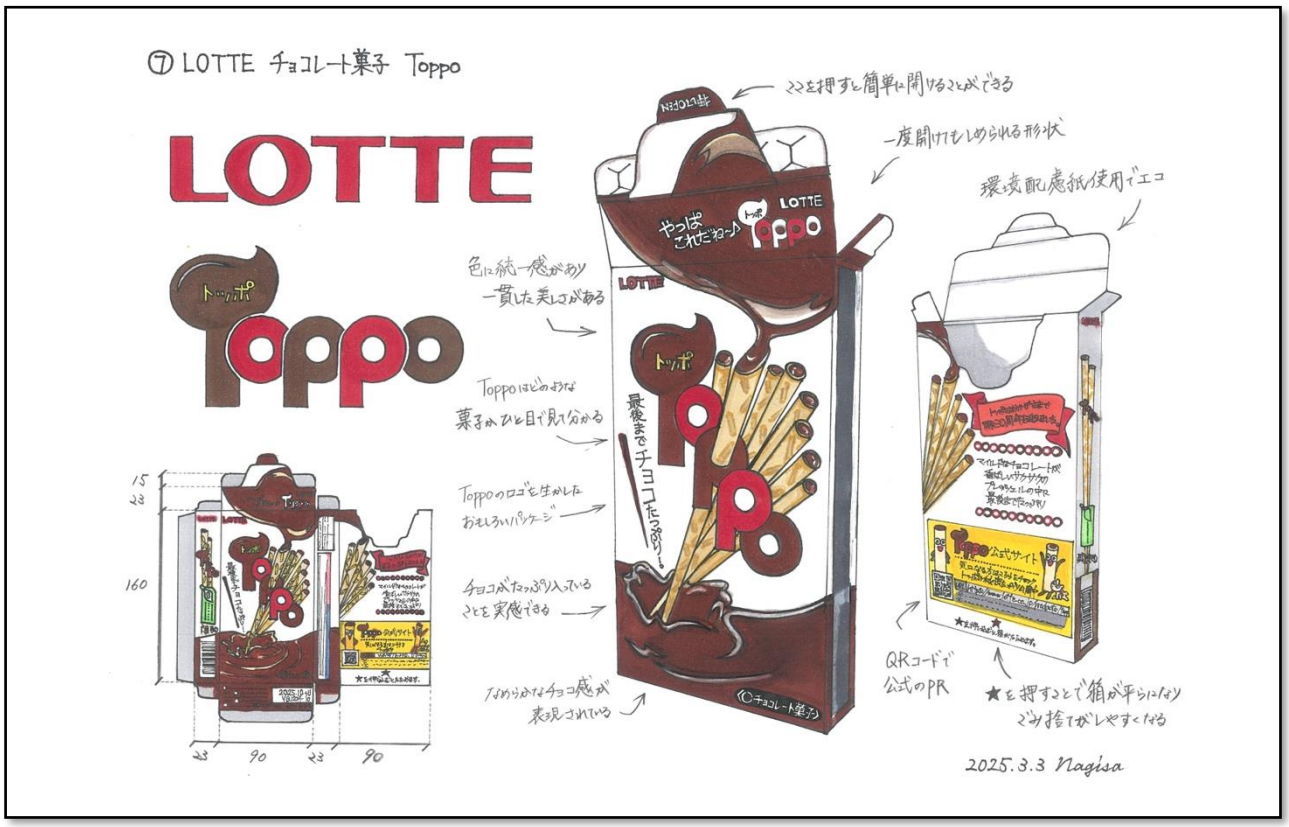
スケッチ実例（２０２５年度入学生スクーリング課題作品）

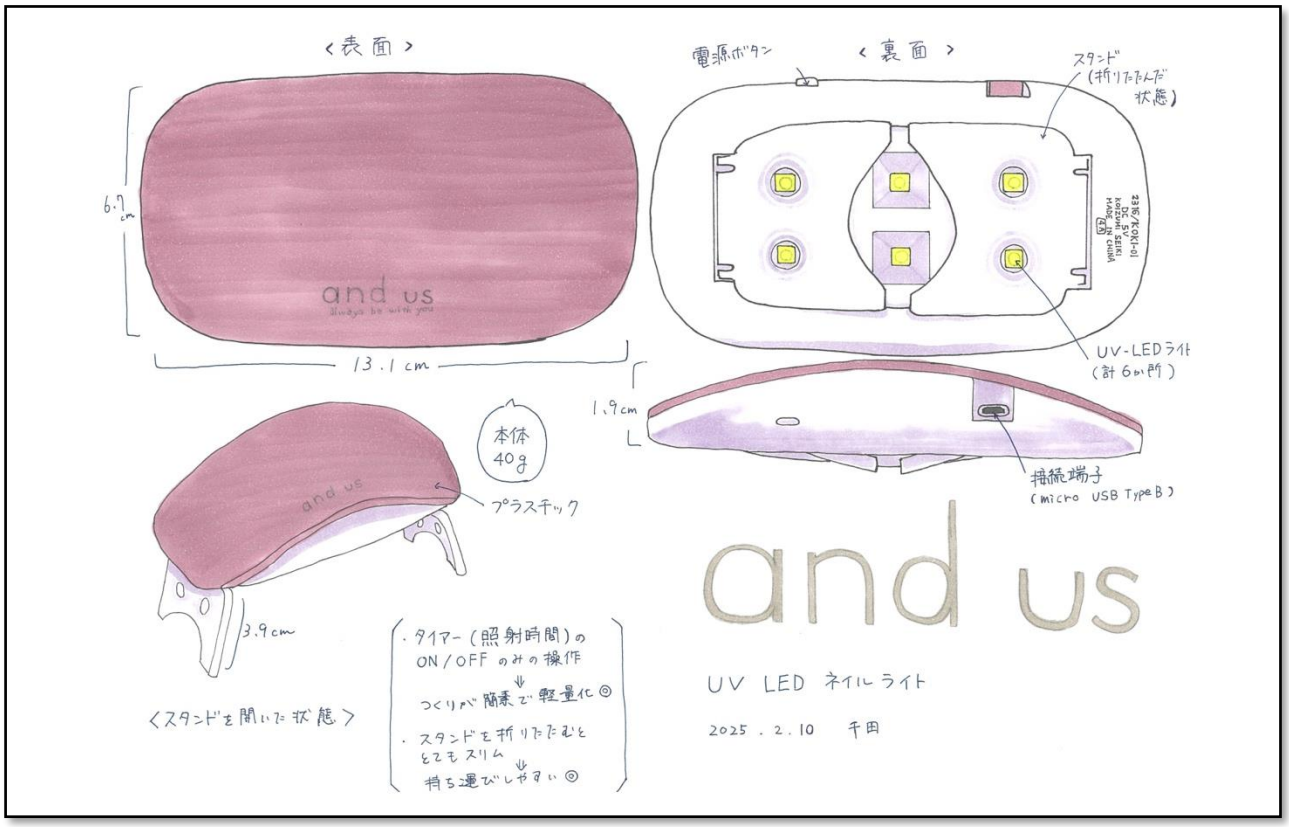




【課題①】観察スケッチについて

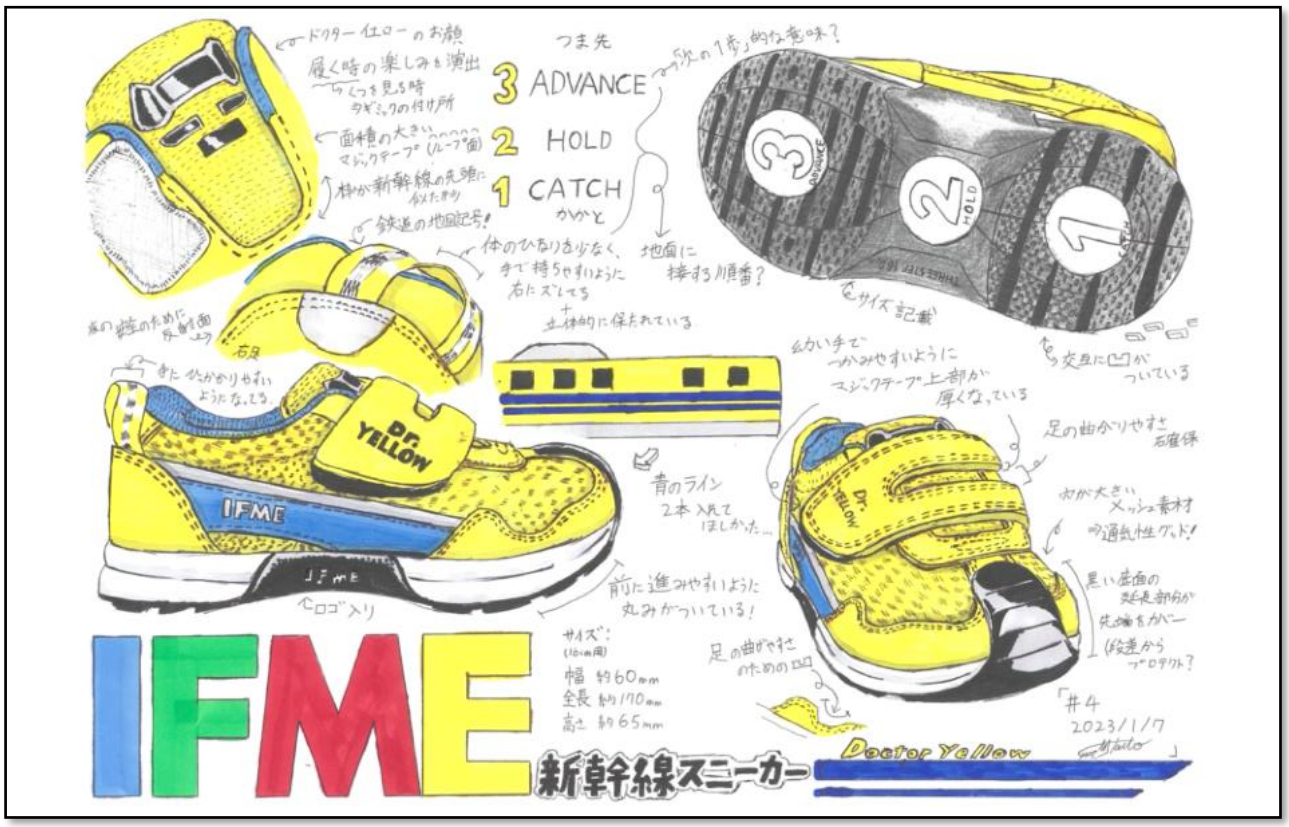
スケッチ実例（２０２５年度入学生スクーリング課題作品）

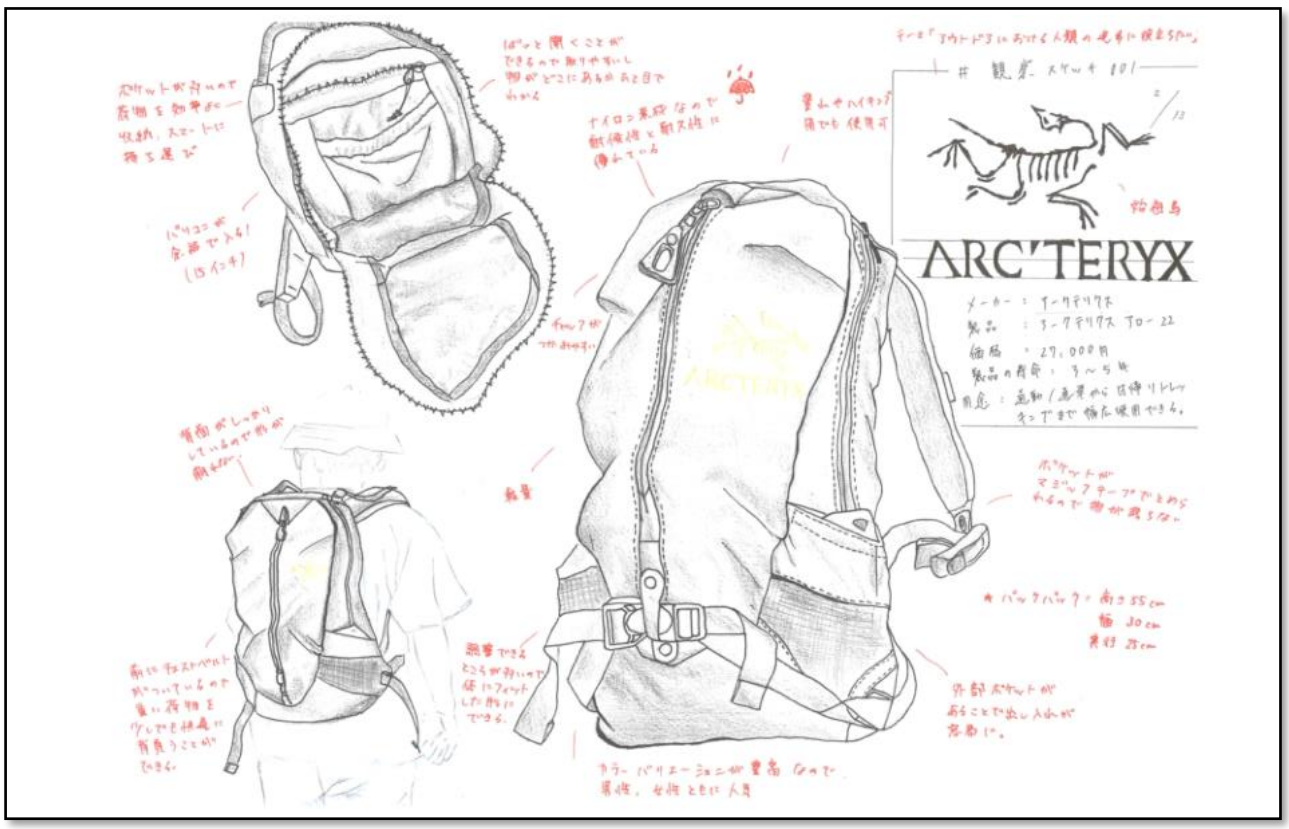




【課題①】観察スケッチについて

スケッチ実例（２０２４年度入学生スクーリング課題作品）

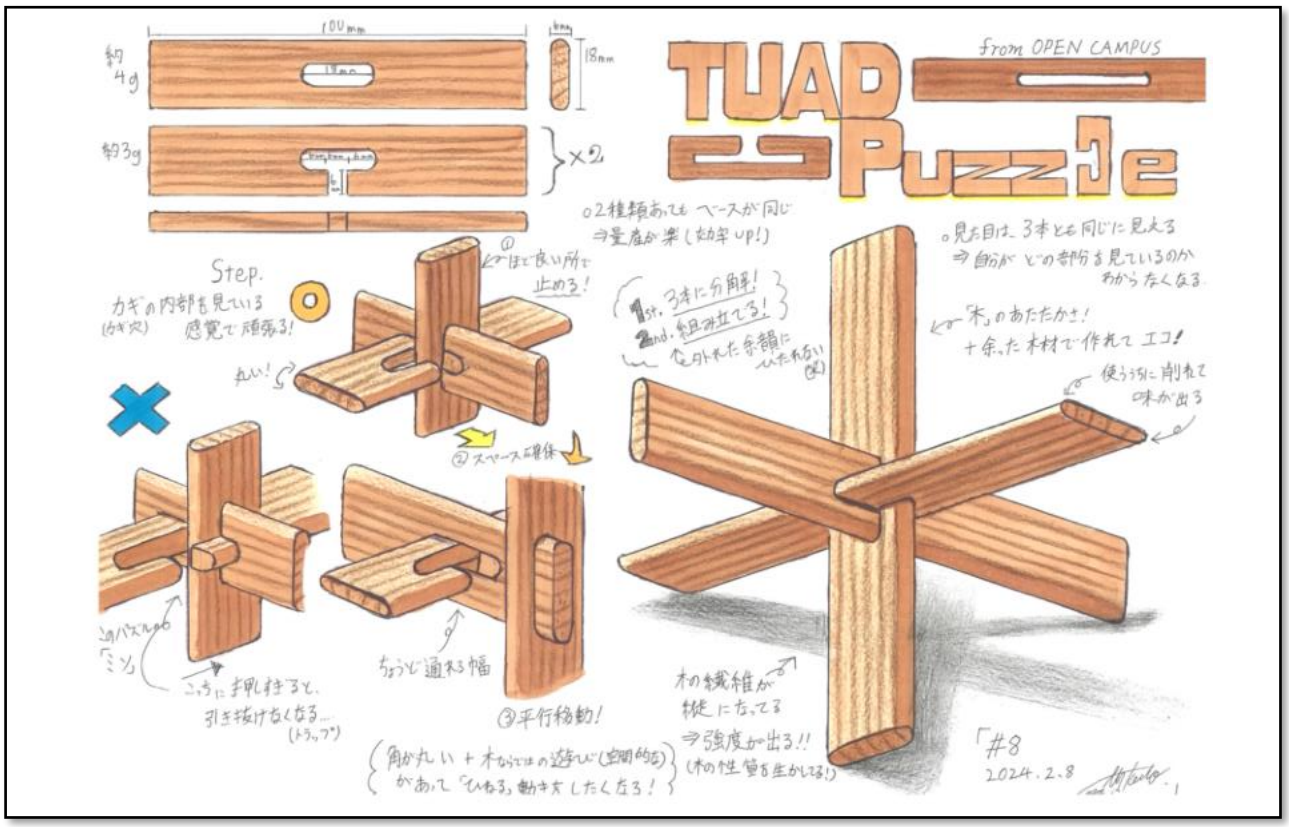


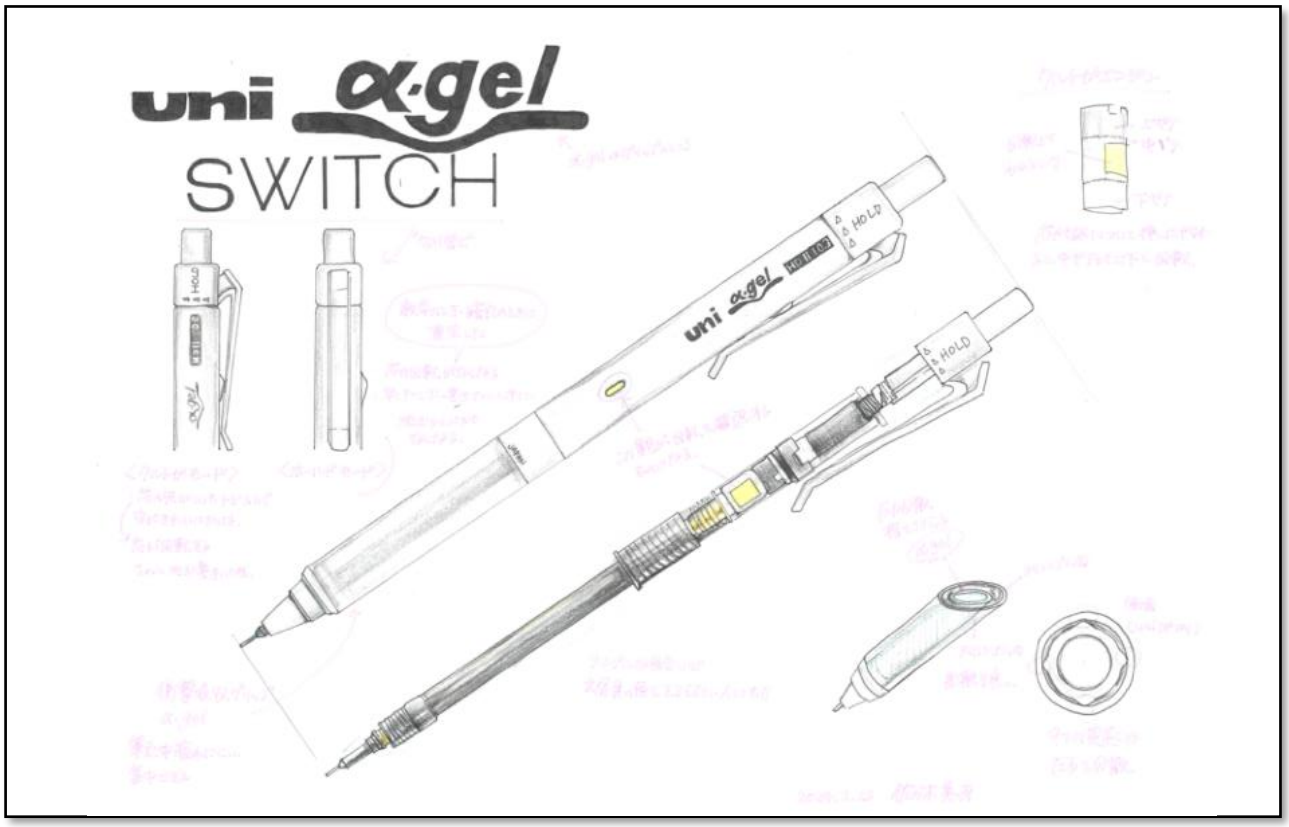


「X」ハッシュタグ「＃観察スケッチ」でもたくさんの事例を見ることができます。
参考にするだけでなく、ぜひ投稿してみてください！

【課題①】観察スケッチについて

スケッチ実例（２０２４年度入学生スクーリング課題作品）



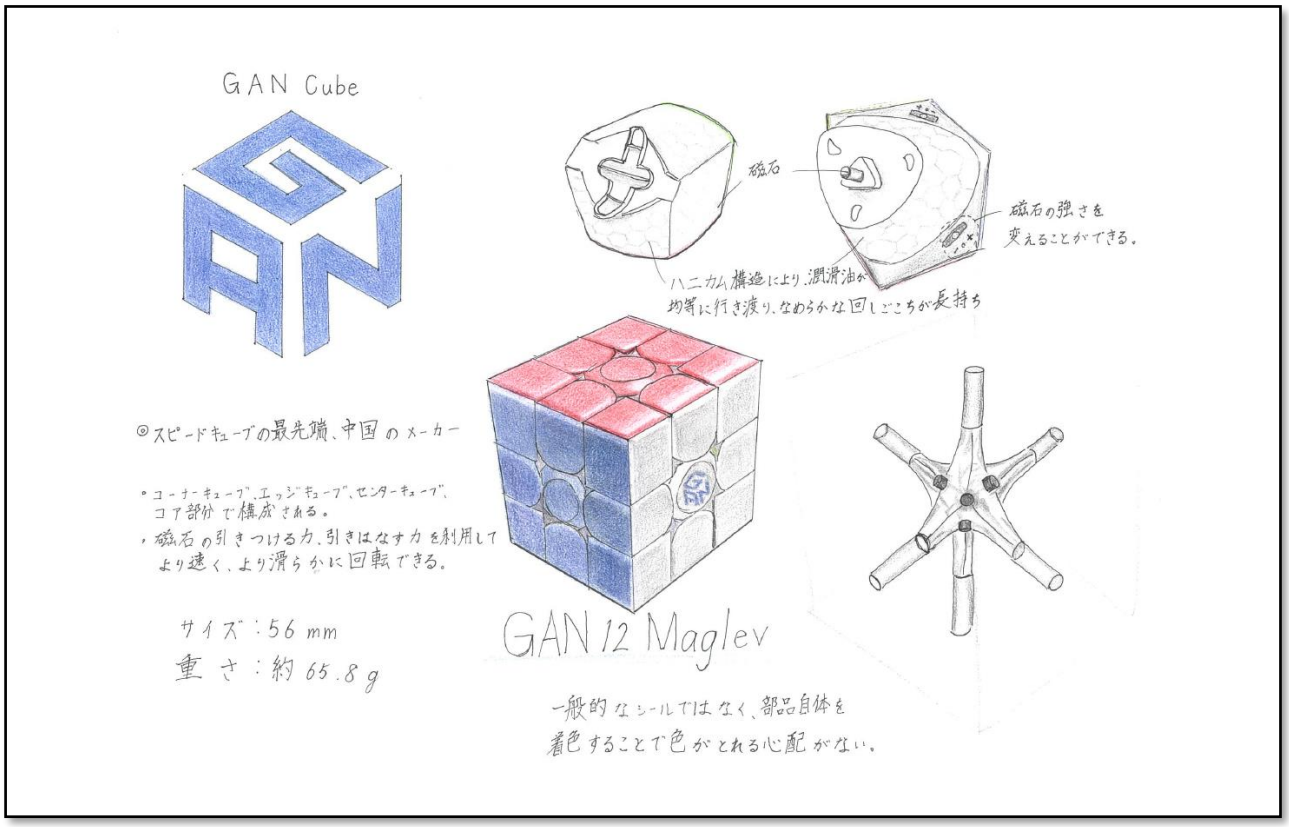


「X」ハッシュタグ「＃観察スケッチ」でもたくさんの事例を見ることができます。
参考にするだけでなく、ぜひ投稿してみてください！

【課題①】観察スケッチについて

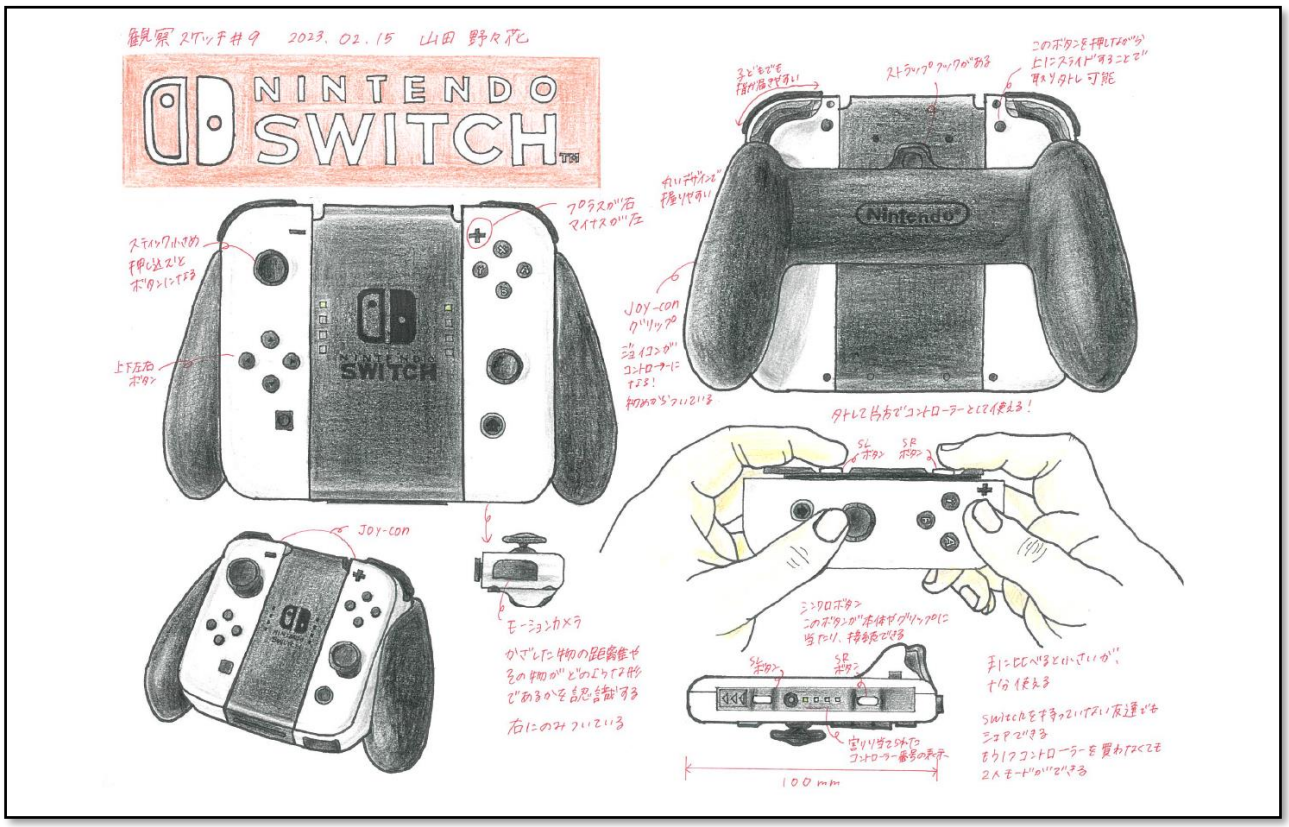
スケッチ実例（２０２３年度入学生スクーリング課題作品）





【課題①】観察スケッチについて

スケッチ実例（２０２３年度入学生スクーリング課題作品）



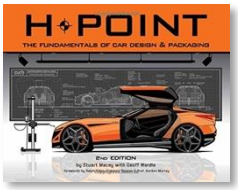


【課題②】課題図書

推薦図書から1冊を購読しレポートにまとめてください。

H・POINT 2nd EDITION

THE FUNDAMENTALS OF CAR DESIGN & PACKAGING
By Styart Macey with Geoff Wardle



モビリティのデザイン開発を順序立てて解説している書籍です。洋書ですが心配いりません。海外のデザイン大学の教書選定されているので、正しい英語で表記されています。英語辞書を横に置いて、ゆっくり読み進めることができます。スケッチやイラストなど多くの挿絵でわかりやすく表現されていて、そのテクニックもとても参考になるとおもいます。
Kindleで電子書籍もあります。

（上原先生推薦）

デザインのデザイン

原　研哉　著
出版社：岩波書店



デザインの起源から遡り、幾つもの実例を挙げながら日本ならではの向かうべきデザインディレクションを示唆した内容になっています。この本は今から20年近く前に書かれたものですが、昨今のデザインを取り巻く環境変化を見事に予測しており、その時代の常識にとらわれない感性と進化するテクノロジーを受け入れることでデザインは常に再解釈される必要があることがわかります。これからのデザインを担う人に読んでいただきたい本です。

（小林先生推薦）

万人のためのデザイン

エレン・プラトン　著
出版社：ピー・エヌ・エヌ新社

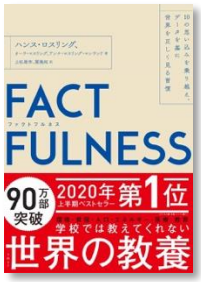


デザインという営みが、誰のためにどうして行われているか、今一度見つめ直すための教科書のような一冊です。人と物の関係性を問い、現代のデザインの解釈と方法論を図や実例を示しながら説明されており、デザインに関わっている人もこれから関わろうと考えている人にも読んでほしいと思います。“万人”がデザインの当事者（デザインをする側、使う側）になるための定番の一冊です。

（酒井先生推薦）

FACT FULNESS ファクトフルネス

ハンス・ロギング、他著
出版社：日経ＢＰ



世の中にある情報は、その伝え方次第でいかようにも印象を変えることができます。私たちがすでに知っているつもりの情報は、ある印象を刷り込むために意図的に操作されたものかもしれません。マスメディアが多様化する中「正しい情報」とは何なのか、人がどのような考えに陥りやすいのか、これからの時代を担うデザイナーに必要不可欠な、世界を正しく見る目を養える一冊です。

（藤田先生推薦）

センスは知識からはじまる

水野　学　著
出版社：朝日新聞出版



デザインを作り上げていくために必要な情報収集の方法や物事を深く理解するための視点の持ち方などが著者の体験談を交えながらわかりやすい言葉で書かれています。また、センスについて生まれ持った才能や特別な人が持っているのではなく、スキルとして誰でも身につけることができることが解説されていることも興味深いです。これから大学で学んでいく上で、学習意欲を後押ししてくれる一冊です。

（堀内先生推薦）

美大式 ビジネスパーソンのデザイン入門

稲葉　裕美 著
出版社：翔泳社



本書は、デザインを学んでこなかった社会人向けに書かれていますが、実は、これから本格的にデザインを学ぼうとしている皆さんの役に立つ内容が詰め込まれています。デザインとは一体何なのか、優しく紐解き、デザイン力を磨く方法を伝授してくれます。この本を読み、その日から日々の習慣を変えることで、入学する頃にはきっと、さらにデザインを学びたい気持ちが高まっていることと思います。

（柚木先生推薦）

クリエイティブ・イノベーションの道具箱

今井　健太郎　著
出版社：雷鳥社



クリエイティブスキルを磨く20の思考法を、世界中のイノベーション事例とリンクさせて紹介しています。斧／固定観念を断ち切る、アンテナ／五感を拡張する、など思考を道具に見立てて、分かりやすい文章とイラスト、美しいレイアウトでまとめられています。これからデザインの世界に足を踏み入れる皆さんにとって「どのように考え始めたらよいか」が最初の課題になると思います。その「とっかかり」を得るために、この思考法／道具がきっと役に立ちます。

（渡邉先生推薦）

ゼロからトースターを作ってみた結果

トーマス トウェイツ　著
出版社： 新潮社



デザインは形を考えて作れば終わり…ではありません。本書では、身近な家電を素材から作るという挑戦を通して、資源の採取や加工、コストや人の労働など、製品ができるまでの裏側を探っています。ものづくりの背景や限りある資源について意識するきっかけをくれ、これからのデザインのあり方を深く考える視点を養う一冊です。ぜひ身の回りのものにも目を向けてみてください。きっとこれからの学びを深めるヒントになるはずです。

（小野寺先生推薦）

問合せ先

990-9530　山形県山形市上桜田３－４－５
東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科準備室
pd_tuad@aga.tuad.ac.jp
023-627-2016

東北芸術工科大学 デザイン工学部
プロダクトデザイン学科

https://www.tuad.ac.jp/productdesign/